



令和6年度 主な教育活動の目標と方策														
<p><b>(1) 確かな学力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確かな学力育成のための学習環境整備           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級経営を充実させて生徒が安心して発言（失敗）できる学習環境をつくる。</li> </ul> </li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びを促す授業改善の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業のねらい、流れを明確に示し、振りかえりを一単位授業の中で実施する。</li> <li>・教科横断的な学びで知識・技能の一層の定着を図る。</li> <li>・ICT 機器を積極的に活用し主体的な学びを推進する。</li> <li>・問題解決学習や課題解決学習を重視し協働的な学びを推進する。</li> <li>・発問を工夫し、思考力を高め、根拠に基づいた論理的な言語活動の充実、表現力を育成する。</li> </ul> </li> <li>○ 評価基準の明示           <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価基準を校内統一形式として明示する。</li> <li>・単元におけるルーブリック評価の作成に努める。</li> </ul> </li> <li>○ 家庭学習の充実（学習意欲の向上）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタディサブリの活用を家庭と連携して推進する。</li> </ul> </li> <li>○ 朝読書の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書を通じて落ち着いた学習環境をつくり、読書活動を通じて表現力・言語能力の向上を図る。</li> </ul> </li> <li>○ 学力調査結果の分析と活用・補習体制の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査等を分析し授業改善推進プランを作成する。</li> <li>・定期考査前の質問教室、地域未来塾、夏季学習教に取組む。漢検、数検、英検を年各2回以上実施する。</li> </ul> </li> <li>○ ユニバーサルデザインに基づいた授業改善の研究           <ul style="list-style-type: none"> <li>・UD に基づいた授業改善を校内研究のテーマとする。</li> </ul> </li> </ul>			<p><b>(2) 豊かな心の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生命尊重教育の推進（温かい人間関係の構築）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己並びに他者を尊重する態度の育成を図る。</li> <li>・いじめや暴力は重要な人権問題であることを認識させるとともに、いじめの早期発見・早期対応に努め、いじめ・暴力のない学校をめざす。</li> <li>・SOS 出し方に関する教育を推進する。</li> </ul> </li> <li>○ 道徳教育及び学級活動の充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・より良く生きる基盤である道徳性を養うため、考え議論する道徳の授業を展開する。</li> <li>・一人一人の居場所をつくり、安心して生活できる学級づくりを進め、自他を認め合う望ましい人間関係を形成していく態度を育成する。</li> <li>・学年・学級の諸課題を自分のこととして捉え、自分達で良くしていこうとする自治意識を高める。</li> <li>・不登校傾向生徒の居場所としての「ステップルーム」の充実に取り組む。</li> </ul> </li> <li>○ 特別活動、総合的な学習の時間、立川市民科の活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級活動や行事を通して、望ましい人間関係を構築し、自己肯定感や達成感を味わい主体的に取り組む姿勢を育成する。（縦割りによる取組を実施）</li> <li>・地域と連携した学習を通して、他者とのつながりや自らの生き方を考えさせる。「知る」「関わる」「行動する」態度と社会性を育成する。</li> <li>1年 「地域」：立川市の魅力における調べ学習</li> <li>2年 「勤労・福祉」：救急救命講習、職場体験</li> <li>3年 「国際理解」：日本の伝統文化、防災教育</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会性や奉仕の心の醸成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃や当番活動、ボランティア活動等を通して社会性や奉仕の心など豊かな心を育成する。</li> <li>・情報を正しく判断し、SNS等を適正に活用できるように情報モラルを育成する。</li> </ul> </li> <li><b>(3) 健やかな心身の育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力テスト等を活用し自らの心身に関する興味高める。</li> <li>○ セーフティ教室、薬物乱用防止教室、安全指導等を通して生徒の安全への意識を高め、安全な生活を送る態度の育成を図る。</li> </ul> </li> <li><b>(4) 生活指導・キャリア教育の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 支援する、傾聴する、寄り添う指導を基本とし、ダメなことは毅然な態度で指導する。</li> <li>○ 関係諸機関と連携した対応を推進する。</li> <li>○ 自己を知る、適性を知る、計画力、実行力、粘り強く取り組む力を育成する。</li> </ul> </li> <li><b>(5) 特別支援教育の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援コーディネーター並びに特別支援教室専門員を活用し、特別支援教室プラス担当教員との連携の充実を図り、校内の指導体制や教育相談体制の充実を図り、個に応じた支援や指導を組織的、継続的に行う。</li> <li>○ 1 組や立川学園との交流を通して、障がいに対する教職員、生徒の正しい理解と対応に努め、障害理解教育の充実を図る。</li> </ul> </li> </ul>			<p><b>(6) 地域とともに歩む学校を目指す</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コミュニティ・スクールの充実           <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会と連携し、ネットワーク型学校経営システムの構築を図る。地域の教育資源を活用し、保護者、地域と連携した教育活動を展開する。</li> </ul> </li> <li>○ 地域とともに歩む学校づくりの推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種たより、ホームページ、メールシステム等を活用し、積極的に保護者へ情報提供し、相談体制の充実を図るとともに、学校評価を活用して地域とともに歩む学校づくりを推進する。</li> <li>・学校公開（土曜参観）や学校行事、生徒の発表等を積極的に保護者、地域に公開し、地域とともに歩む学校を推進する。また生徒の作品等を地域の会館や図書館に展示し、地域貢献に取り組む。</li> </ul> </li> <li><b>(7) 小中連携教育活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校区3校による相互授業参観や協議会等を通して連携教育の一層の充実を図る。 〔具体的な連携活動〕</li> <li>・小学校6年生を対象とした授業体験（選択交流授業）</li> <li>・二中紹介（生徒会による二中紹介と部活動紹介）</li> <li>・校区小中児童・生徒による挨拶運動</li> </ul> </li> <li><b>(8) 危機管理の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難訓練を通して生徒の防災への意識を高め、自助・共助の態度を育成する。</li> <li>○ 消防署との連携、救急救命講習等の防災教育を実施する。避難所運営講座を実施する。（中3対象）</li> </ul> </li> </ul>			<p><b>(9) 組織的な学校運営</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 服務規律の徹底           <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンスリーダーが中心となり、服務事故防止にかかわる研修を毎月計画的に実施。</li> </ul> </li> <li>○ 組織的な学校運営           <ul style="list-style-type: none"> <li>・主幹教諭を中心とした学校組織体制の充実に取り組む。</li> <li>・「報告・連絡・相談・記録」を常に行い職務を遂行する。また、教職員が情報共有に努め、一体感をもった指導に取り組む。</li> <li>・職場全体で互いを高め合い、意欲的な教育活動を実践することを通して、教職員の人材育成を図る。</li> <li>・生活指導の初期対応については「迅速・的確・誠実」に取り組む、事案の早期解決を図る。</li> <li>・共同事務実施支援職員との連携を通し、私費会計等の事務処理をマニュアルに従い円滑かつ適切に進める。</li> <li>・SC による教育相談の充実や学習支援員、副校長補佐、SSS 等の活用を通してチーム学校として組織運営を実施する。</li> </ul> </li> <li>○ 校内研修の取組           <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究主任を中心とした校内研修の充実を努め、UD に基づく授業改善や道徳科授業力向上を図る。</li> </ul> </li> </ul>		